

公明お知らせ 121号

K O M E I ・ E D O G A W A ・ T O K Y O

http://www.e-komei.com

発行：江戸川区議会公明党 / 平成28年9月

区議会公明党が、区民の声を実現!

平成28年 第2回定例会報告

第2回定例会が6月9日～21日の会期で行われました。ここでは、区議会公明党の本会議質疑の報告を致します。

水害時の高台避難所整備が急務!

問：水害時の高台避難所について。

答：高台避難場所は緊急避難場所として、また救助・物資輸送の拠点として意義がある。公園の高台など、より身近な避難場所の確保に向けては、関係機関と協議しながら取り組んでいく。



鉄道駅のホームドア設置等バリアフリー化の推進を!

問：安全・安心に鉄道を利用できるよう、区内の各駅にホームドア等を整備し、駅ホームの総合的なバリアフリー推進と安全対策を。

答：事業者間の調整を図り、乗降客が10万人以上の駅に優先的にホームドアの設置を促進していく。



新たな「学び直し」の支援を!

問：「誰も置き去りにしない」教育のため、中学校既卒者の中学校夜間学級への再入学制度や新たな「学び直し」の支援を。

答：様々な事情により学校に通えず、十分な教育を受けられないまま、学校の配慮等により中学校卒業となった方がいるのは事実である。そうした方から、夜間学級での学び直しについて相談があった場合には、積極的に入学を認めていく。



臨海球技場の夜間照明がLED化! 野球場が人工芝に!!

問：臨海球技場第一の改修工事の具体的な工事内容と利用休止期間は。

答：野球場、多目的グラウンド、フットサル場の老朽化対策と併せて、照明のLED化や人工芝化を行う。28年度は設計を行い、工事は29年度を予定している。工期は数か月かかる見込みであるが、休止期間を短くする工夫をしていく。



篠崎駅に駐輪場を増設!

問：自転車の大型化や多様化に対する駐輪場対策は。

答：現在の利用台数がピークであると想定しており、ラックの入れ替えや駐輪エリア分けなどの工夫により対応していく。



問：篠崎駅駐輪場の増設について。

答：区の土地を貸し付け、100台から150台規模の駐輪場を民設民営で増設し、今年の秋から利用開始の予定である。

速報!!

学び直し支援の新たな取り組みが実現!

えどがわ夜間めくもり塾が開塾しました!

「勉強したい人は、年齢に関係なく無料で学べます」

【概要】不登校・引きこもり・再度勉強したい方などに、元校長、元教師の方々が中学校程度までの勉強を要望に沿って教えてくれる学習の場です。

【会場】ふなほり学校サポート教室 江戸川区船堀6-5-4パークハイツ4号棟内 ※自転車でのお越しはご遠慮ください。

【日時】毎週土曜日(午後5時から7時)

【対象】小学生以上で、学びたい方(区内在住) ※未成年の方の通塾は保護者の責任のもとにお願いします。

【受講料】無料 【お問合せ・お申込み】江戸川区教育委員会事務局教育研究所 電話：03-5662-7207

待機児童解消に向けた取り組みを推進!

第2回区議会定例会では、区議会公明党が提案した「待機児童解消に向けて緊急的な対応を求める意見書」に共産党を除くすべての会派が賛成し、国に対して意見書を提出致しました。

区議会公明党は民間の活力も取り入れ、小規模保育所の整備や、私立幼稚園での預かり保育の拡大を要望し続けて来ました。今後も待機児童解消に向けて全力で取り組んで参ります。



<提出された意見書>

待機児童解消に向けて緊急的な対応を求める意見書

政府は「待機児童解消加速化プラン」に基づき、保育所等の受け入れ児童数の拡大や保育士の処遇改善などに取り組んできたところですが、依然として2万人を超える待機児童が存在します。

また、待機児童は主に大都市を有する都道府県に多く存在することから、問題解決のためには、地域の実情や利用者の視点に立ったきめ細かな支援策が重要です。

こうした観点から、保育人材を確保するための処遇改善など総合的な取り組みを推進するとともに、待機児童の多い地域においては即効性のある受け皿の確保などを集中的に講ずることも必要です。

よって、江戸川区議会は、政府に対し、必要な予算の確保も含め、早急に待機児童の解消を図るため、下記の事項について取り組むことを強く求めます。

記

- 1.待機児童解消のため、企業主導型保育を強力に推進するとともに「待機児童解消加速化プラン」を着実に実施すること。また、子ども・子育て支援新制度を利用者目線で総点検し、実態に応じた公定価格の実現を図ること。
 - 2.多様な保育ニーズと保育施設とのマッチングを行う「保育コンシェルジュ」について、利用者の視点に立った機能強化を推進すること。
 - 3.都市部における施設整備の用地確保を図るため、定期借地制度や公務員住宅、国立大学法人等の空きスペースの活用など、公有地等を活用した保育所等の整備に取り組むこと。
 - 4.保育士の賃金引き上げやキャリアアップ支援など、保育士のさらなる処遇改善を検討すること。また、短時間正社員制度の推進や育児休業取得の推進など、保育士が働きやすい環境整備に取り組むこと。
- 以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

平成28年6月21日

江戸川区議会

内閣総理大臣、厚生労働大臣
内閣府特命担当大臣(少子化対策、男女共同参画)あて

①認可保育所及び小規模保育所の整備

平成27年度及び28年度で小規模保育所を6園増設して71名の定員増。認可保育所を6園増設して350名の定員を増やし、合計515名の定員増を図っています。さらに、29年度には認可保育所を4園、小規模保育所を6園増設する予定です。

MEMO

小規模保育所とは、少人数(定員6~19人)の0歳から2歳までのお子さんを対象に家庭的保育に近い雰囲気のもと、きめ細やかな保育を行う施設です。入居申し込み手続きや利用者負担額(保育料)は認可保育所と同様です。



②私立幼稚園での「預かり保育」の拡大

春休み、夏休み、冬休みなど幼稚園の長期休暇中も含めて年間220日以上、一日8時間以上の「預かり保育」を私立幼稚園14園で実施しています。今年11月から行われる保育園及び幼稚園の申し込み時に大きくPRしていきます。



③認可保育所のさらなる整備

待機児童解消を一層加速するために、待機児童の多い地域を優先しながら認可保育所の整備を図っていきます。
(平成30年度に開設できるよう、都内や近県の保育事業者に拡げて募集していきます。)

ご意見・ご要望はこちらへ!

TEL:03-5662-5112 / FAX:03-3674-5860



佐々木 勇一 竹平 智香 所 隆宏 太田 公弘 窪田 龍一 堀江 創一 関根 麻美子 伊藤 照子 中道 貴 鶴沢 悦子 竹内 進 田中 淳子 川瀬 泰徳